

# ホ号棟管理組合 第11回理事会議事録

日 時 平成 19 年 3 月 8 日 (木) 午後 8 時 ~ 同 10 時 05 分  
場 所 ホ号棟管理組合集会室  
出席者 (16 名) 理事 14 名 監事 1 名 地域活動委員 1 名 欠 2 名

## 1 協議事項

### ア 建替え問題

- ・市出前講座の総括 (今号記事を参照のこと)  
☆市は一般的な情報を流すのではなく、住民はなにを求めているのか、どのようなことに問題点を感じているのかについて、具体的な事例などで応えてほしかった。(市に、口頭および文書で申し入れ済み)
- ・【費用対効果】表の作成へ向けて  
☆3月7日、防災・建築街づくりセンターと情報交換をし、エレベーター設置、両脇号室からの避難梯子(階段)設置、狭隘の解消などについても、第2次費用対効果対象として検討することが約束された。  
☆防災診断とその補強については、現状では対応しきれないとのこと。
- ・供給公社、管理組合協議会へ向けての働きかけ  
☆当面、緩やかな【街づくり(地区計画)協議会】でスタートし、その中で規約、組織、会計などを平行して検討をしていくことで、公社と合意した。
- ・今後のスケジュール  
☆第3回自由懇談会(4月15日・日)、定期総会(5月20日・日)  
定期総会以降は、随時臨時総会などを検討していき、情報の共有化と議論の集中を図る。



### イ 防災訓練の実施(3月25日) (今号記事を参照のこと)

- ・現状報告と模擬訓練  
☆資料に基づき、当日を中心とした流れを確認した。
- ・各理事の役割分担  
☆資料に基づき、模擬体験および具体的な任務分担を確認した。

### ウ 子どもを変質者から守ろう (今号記事を参照のこと)

- ☆ト号棟と共同(分担)で、夕方を中心とした地域パトロールを実施。
- ☆ホ号棟管理組合と同子ども会がチームを作って、学童・幼児を変質

者などから守る行動を起こす。

## エ 第4回階段委員会の開催（3月17日・土）

（今号記事を参照のこと）

- ☆ 防災訓練の最終打合せ、消火器の配布、子どもを守る地域パトロールの実施などにつき協議をする（階段委員は全員参加）。



## オ 19年度理事会体制

- ・ 棟選出理事 推薦理事の確定

☆ 推薦理事の選出について情報交換があり、確定を急ぐこととなった。

## カ 管理組合等の規約改正について

- ・ 現状報告と承認

☆ 規約改正検討委員会の報告に基づき、検討及び概略承認が行われた。

☆ 最終的な確定には、文章上の更なる精査や議論の分かれる条文解釈の一致などが、今後に求められる。

☆ 総会へ向けて、場合によっては臨時の理事会なども検討する。

## キ 18年度総括（総会へ向けて）

- ・ 年度記録のまとめ

☆ 平成18年度の各担当別総括を、3月31日までに事務局へ提出する。

☆ 定例総会は、5月220日（日）とする。

- ・ 19年度の基本的方向性

☆ 建替え問題、高齢者、子ども、環境整備、防災、組織強化などを中心に、四役会で素案を作成し、4月理事会にて協議決定する。

## 2 報告事項

### ア 高齢者問題（今号記事を参照のこと）

- ・ 第3回ときわぎ国領との懇談会（2月24日）総括
- ・ サロン・タマリバー（3月5日）スタートの総括
- ・ お花見会へ向けて（3月22日実施予定）

### イ バイク置場設置問題

☆ 図面作成、工事監理などで契約した「ミッド・フィールド一級建築士事務所」から提示された駐車場の近未来図面につき説明があった。

☆ 今後の日程について、提案され了承された。

図面等資料の全戸配布は3月末日。 **全体集会は4月8日（日）。**

### ウ 財務報告

☆ 月例、財務報告2月分が承認された。

☆ 1月下旬に住宅金融公庫《スマイル債》を購入したことが承認。

### エ 各担当理事からの報告

— 略 —

## アトラス国領(旧・国領住宅)



### モデルルーム見学の感想

堀家(ホ-5)

建替えられた住宅のモデルは、美しく工夫され魅力的であった。  
若夫婦と子どもの3大家族を想定した間取りのようだが・・・

ここでは、特に「**日当たり**」・「**収納場所**」・「**書棚等の重量物**」そして「**特別注文の部分**」について考えさせられた。

「**日当たり**」・・・長く住む為には、現在のような“日当たり”が確保されなくてはならない。今のホ号棟の「日当たり」は“最高”である。  
モデル住宅のように外観やおしゃれな部屋の間取りを重視するあまり、日当たりが軽視されるようでは、永住するのには困るだろう。

「**収納場所**」・・・生活物資は、ホ号棟のどの家庭も多い。  
しかしモデル住宅の収納では、1年分の生活物資で満杯になりそうである。  
特に子供部屋は、一週間分の衣類しか入らないように感じられた。寝室や居間も衣類収納場所が少なく思う。

「**書棚等の重量物**」・・・書棚が無いので質問してみたが、書棚を置くことは考えられていない。書棚を置くなら、重量物となり床下から【**特別注文**】の対応をしなくてはならないという答えであった。  
その他、書棚に限らず室内の諸設備もこのようにするには【**特別注文**】をしていただきますというものが意外に多かったようである。

「日当たり」「間取り」そして「収納場所」の確保は、建替えを考えるには基本的な条件となる事を再確認した見学の日であった。